

学校案内
School information

大地を耕し、志を磨き、未来を切り拓く力に

Kumamoto Prefectural College

cultural

熊本県立農業高等学校



熊本県立農業高等学校ホームページ
<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/84/>



農大インスタ(熊本県立農業高等学校耕志会)



ACCESS

-  熊本駅または熊本桜町バスターミナル乗車
菊池温泉方面行き[約50分]
[大池・農業公園入口]下車[徒歩約10分]
-  熊本電鉄「御代志駅」下車徒歩約25分
-  九州自動車道「植木IC」から約11km[約25分]
九州自動車道「熊本IC」から約10km[約20分]
九州自動車道「北熊本スマートIC」から約5km[約10分]

Kumamoto Prefectural  Agri cultural College

熊本県立農業高等学校

〒861-1113 熊本県合志市栄3805

TEL.096-248-1188 FAX.096-248-4432

学校概要

本校は、昭和53年の開校以来、担い手育成の中核的教育機関として、多くの就農者を輩出しています。農業技術の進化、多様化に対応できる高度な知識・技術及び経営管理能力の習得を目指し、幅広い視野を備え、変化する世界・社会で活躍できる農業経営者及び農業・農村のリーダーを育成します。



本校の教官

本校の教官は、県職員（試験研究や普及指導（農家への技術指導や営農指導）経験者等）及び県立高校教諭から構成されています。また、一般教養や一部の専門科目については、各分野のスペシャリストである外部講師から学ぶことができます。

農学部

学科・コース

専修学校の学生として、専門科目、教養科目など幅広く学びます。

学科	コース	定員	修業年限
農産園芸学科	農特産コース	30名	2年間
	花きコース		
	果樹コース		
野菜学科	野菜コース	30名	
畜産学科	酪農コース	20名	
	肉用牛コース		
研究科		若干名	1年間

農業を始めようとする社会人を対象とした研修です。

研修部

研修コース

研修コース	定員	受講日・受講期間
プロ経営者コース	10名	週5日(月～金) 1年間(4月から3月)
実践農業コース	40名	週3日(月・水・金) 8ヶ月(4月から12月)

農学部

校訓

自覚

自尊

自強

教育方針

次代の本県農業を担う
優れた農業経営者の養成を図るため、
農業に関する高度な知識及び技術と、
将来の農業を担う者として必要な幅広い教養
及び社会性を備えた人材を育成する。

自治

自啓

農大教育5つの魅力

1 実践的なスキルと経営力育成

校内に農場があり、原則午後からは経営実習として栽培・飼育に取り組みます。さらに、自ら課題を設定し解決に取り組む「プロジェクト学習」を核とした高度な実践技術が習得できます。また、校内マルシェでの農産物販売や外部講師による講義を通して経営感覚を学びます。

2 現場密着型の研修

県内の農大卒業生、指導農業士や農業法人などへの派遣研修を行い、生きた経営理念や最新の栽培・飼育技術が学べます。また、学生自身で組み立てて校外研修（興味のある農家での研修や企業でのインターンシップなど）を実施する一日経営実習日（毎週水曜日）を設定しています。

3 充実した教育環境とニーズに応じた資格取得

環境制御ハウスや農業機械の専用コース、食品加工施設、畜産GAP認証農場など充実した施設で実習ができ、スマート農業（農業用ドローンなど）などの新しい技術を学べます。また、大型特殊免許やけん引免許など就農や就職に有利になる多種多様な資格を取得できます。

4 専門士の称号と進学支援

卒業生には専門士（農業）の称号が付与されます。4年制大学への編入も可能です。また、進学希望者には、進学課外（英語）を実施しています。

5 修学・生活の安心サポート

日本学生支援機構の奨学金や卒業後農業に就くことを前提とした給付型の事業など充実した就学支援を活用できます。進路コーディネーター、スクールカウンセラーなどを配置し、学生生活をサポートします。また、校内に学生寮（希望制）を備えており、共同生活を通じて学生相互の親睦が深まります。



農産園芸学科 農特産 コース

西日本有数の米どころで、
作物の栽培技術を学ぶ

主な 栽培品目

水稲、小麦、
大豆、茶、
バレイショ



農特産コースでは、水田・茶園・畑を活用し、本県の基幹作物である水稲・麦・大豆・茶を中心に、イモ類や露地野菜などの土地利用型作物を幅広く栽培します。

実習では、作物ごとの栽培技術を習得するだけでなく、トラクター・田植機・コンバイン・茶摘採機などの農業機械の操作や整備方法も学び、現場で即戦力となる力を身につけます。



バレイショの収量調査



ロボットトラクターでの耕耘作業



コンバインでの水稲収穫作業



側状施肥による田植え作業



コンバイン整備研修



佐藤さん
(北海道大空高校出身)

農大生の声

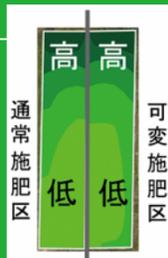
実習から学んだ農業の魅力

農特産コースは農業機械に触れながら実習できるコースで、毎回「農業をしている」と実感しています。私はこれから水稲と陸稲の生育の違いを調べるプロジェクトに挑戦する予定で、実践を通して農業の魅力をもっと知りたいと思っています。水稲の好きな人や農業機械が好きな人にぴったりのコースです。

プロジェクト例 PROJECT

水稲栽培の可変施肥による生育及び収量への影響

地力の高低により施肥量を変えられる可変施肥を行うことで圃場内の生育を均一化し、くすみの低減を図った。単年の試験では、生育の均一化はできなかったが、くすみは減らすことができた。施肥量の調整等課題が見つかったので、卒業後も実家で実践研究を続けていきたい。



農産園芸学科 花き コース

切り花の一大産地(熊本)で、
花きの栽培技術を習得

主な 栽培品目

トルコギキョウ
宿根カスミソウ
シクラメン



花きコースでは、10棟あるガラス温室で育苗から収穫、さらにマーケティングの視点を重視した販売実習に取り組みます。年々深刻になっている酷暑問題の解決に向けて、ミストファンによる異常高温対策など最先端のIoT技術を活用し作物に及ぼす影響について研究します。また、フラワーアレンジメントの技術向上にも努めており、フラワー装飾技能検定3級、さらに上級合格を目指します。



フラワー装飾技能検定に向けて



作製したフラワーアーチの前で



畑地カラーの収穫



先進地視察研修



久富さん
(熊本商工高校出身)

農大生の声

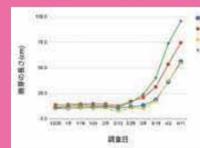
育てた花が人を笑顔にする瞬間が幸せ!

花きコースでは、フラワー装飾技能士の資格取得や、栽培から販売まで経験することができ、誰かの手に美しい花を届けられることが楽しいです。家業のキク農家を継承するために、キク栽培の技術や知識を身に付け、綺麗な花を届けていきたいです。

プロジェクト例 PROJECT

シュコンカスミソウ二度切り栽培における計画出荷技術の実証及び日没後昇温処理による影響

シュコンカスミソウ二度切り栽培で、ビニル被覆の有無及び日没後昇温処理(EOD-heating)が開花に及ぼす影響について調査した結果、ビニル被覆有-EOD区が最も早く、次に被覆有区で開花し、4月末~5月上旬までの需要が最も高い時期に出荷ができることがわかった。日没後昇温処理は、生育促進効果が認められただけでなく、燃料節約の観点からも期待できる技術であり、適切な温度設定及び管理を行うことで経費節約ができると考える。





農産園芸学科 果樹コース

常緑から落葉果樹まで
幅広い樹種の
栽培技術を学ぶ



果樹コースでは常緑果樹(みかん、肥の豊、中晩柑等)と落葉果樹(ブドウ、ナシ、モモ、カキ等)の栽培管理を通じて専門的な知識・技術を習得します。
また、根域制限栽培や「肥の豊」のわい性台木の利用、新品種の導入など高品質な果実の生産技術にも取り組みます。

主な栽培品目

- 温州ミカン
- 肥の豊
- 中晩柑類
- ブドウ、ナシ
- モモ、カキ
- クリ、ウメ



ナシ袋掛け作業



果樹研究所マルチ研修



クリ加工実習



果樹研究所病害虫研修



モモ収穫作業



アシストスーツ実習



橋本さん
(熊本国府高校出身)

農大生の声

おいしい果実を作るために

私は将来の経営に役立てるべく、約40品種の果樹の栽培管理を日々学んでいます。高品質果実生産や病害虫防除、施設栽培など基本的管理だけでなく、経営など多くのことを学ぶことができ、有意義な時間を過ごしています。

プロジェクト例 PROJECT

温州ミカン「興津早生」の日焼け果対策における適正資材の検討

近年、地元では温州ミカンの日焼け果による成果率の減少が問題となっている。そこで、「興津早生」を対象に日焼け果対策として3資材(サンテ、テープ、2重袋)を検討した。その結果、いずれの資材も一定の効果が認められ、特にサンテとテープでは果実品質で良好な成果が得られた。さらに、作業性や資材コストなどを総合的に評価したところ、「興津早生」の日焼け果対策にはサンテが最も有効であると考えられる。



野菜学科 野菜コース

「野菜王国くまもと」で学ぶ
先進の栽培技術と農業経営

主な栽培品目

- トマト、イチゴ、メロン、スイカ、ナス、キュウリ等の果菜類
- レタス、キャベツ、コマツナ、ダイコン、パレシヨ等の露地野菜



野菜コースでは、環境制御装置や養液土耕装置等を装備した19棟の温室と露地畑を使用して、トマト・イチゴ等の施設野菜や露地野菜について、栽培技術に加え経営や流通まで幅広く学びます。学習のメインは、1年次後期から始まる「プロジェクト学習」。学生2名で1棟のハウスを担当し、自ら決めたテーマで環境制御やIPM等の先端技術を用いた野菜の栽培・研究に取り組みます。プロの農家の栽培に近い実践環境で課題解決能力を養い、その成果を卒業論文にまとめます。



2年生後期は卒業論文の執筆



1年生前期は全員で栽培の基礎を学習



農業機械の操作方法を研修



きゅうり接ぎ木



イチゴ「ゆうべに」高設栽培



メロン立体栽培



ミニトマト養液栽培



長迫さん
(菊池農業高校出身)

農大生の声

高校での研究を更に深めたい!

農業高校時代に取り組んだ肥料の研究をさらに深めたいと思い、農大へ進学しました。現在はスイートコーンを対象に、その肥料を用いた栽培試験を行っています。農大の魅力は、自分が育てたい作物を自由に選んで栽培・研究ができる点です。実践を通して農業を深く学べる環境があり、毎日がとても充実しています。



プロジェクト例 PROJECT

トマトの高温障害対策として寒冷紗の有無や品種の違い・フルメット利用が生育や品質に及ぼす影響

近年、トマト産地において、高温による裂果や奇形果等の発生が問題となっている。そこで、高温障害対策として、高温に強い品種の選定と、遮光や生育調整剤による障害果軽減の効果について検討した。調査の結果、品種は「夏和恋」を使用し、ハウスを遮光したうえでフルメット20ppm液を果実に散布することで、障害果の発生を抑制し、高温期の収量・品質が確保できると考えられる。



まとめ

- ハウス内に遮光を施す。
- 品種に「夏和恋」を使用。
- フルメットを20ppmで散布。

この3つを合わせて
高温障害を抑える&収量の確保



畜産学科 酪農コース

先進的な畜産設備やICTを 活用した実践的な畜産経営を学ぶ

畜産学科



肉用牛コース

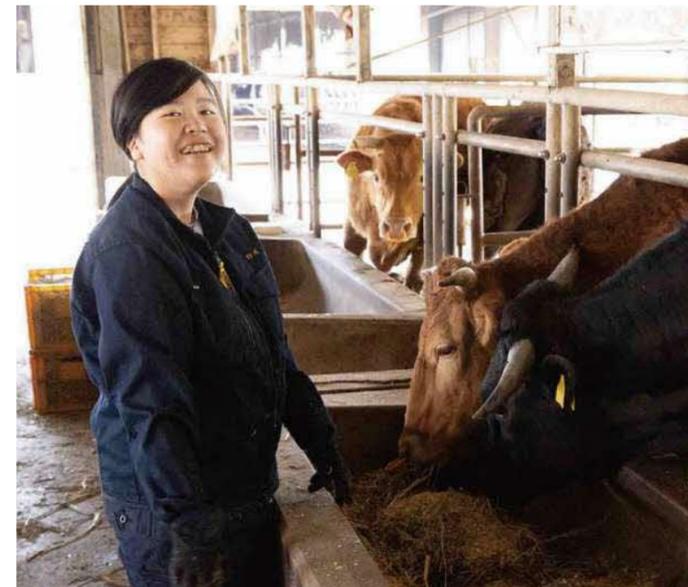


畜産学科では、ゲノミック評価や受精卵移植を活用した牛群改良等の新技術への取組みを行っています。

さらに、畜産JGAP認証農場(家畜・畜産物)において、家畜の飼養、畜産物の取扱い、自給飼料生産の工程管理を実践するとともに、「家畜人工授精師」免許取得を目指すなど繁殖技術取得に力を入れ、家畜管理に必要な知識、技術力、実践力を磨きます。

フリーストール・パーラー方式による搾乳施設で、酪農管理システムを活用した飼養管理技術を学ぶとともに、哺乳ロボットを利用した哺育・育成技術を習得します。また、TMR(混合飼料)製造施設にて、搾乳牛及び乾乳牛用の高品質な飼料調製技術を習得します。

「褐毛和種」や「黒毛和種」の肉用牛繁殖・肥育管理において、牛群管理システムや分娩管理システムを活用した先端の畜産経営を学びます。また、地域のスーパーマーケットと連携しJGAP認証農場畜産物として牛肉の販売会を行い、体験学習を通し生産者としての責任を学びます。



主な品種

ホルスタイン種
トウモロコシ
イタリアンライグラス



分娩後の乳牛管理



牧草地管理



JGAP畜産物販売会



人工授精師講習会



TMR(混合飼料)製造



経営実習(搾乳)



枝肉調査



加工実習

主な品種

黒毛和種
褐毛和種
トウモロコシ
イタリアンライグラス



宮上さん
(翔陽高校出身)

農大生の声

多くの学び

私の家は酪農経営をしています。高校は総合学科でした。農大での学び、我が家の経営、他の牧場でのアルバイトなど学生のうちに様々な体験を行い、熊本県の畜産業を支えるように成長していきたいです。皆さんもこの農大でしか学べないものをたくさん吸収してください。

プロジェクト例 PROJECT

クラウド牛群管理システム機能のデータを活用した牛の疾病の早期発見は可能か

クラウド牛群管理システムにより、疾病の発見が可能であるかを検証した結果、反すう時間によって牛の体調変化を早期に発見することができた。このことから、本システムは疾病の早期発見、治癒の確認において、有効な手段であると考えられる。



福本さん
(熊本農業高校出身)

農大生の声

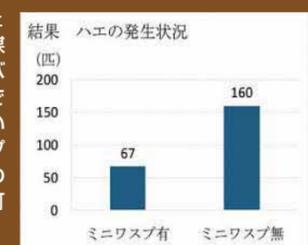
今後の目標

我が家では肉用牛の繁殖経営と園芸農業の複合経営をしています。農大では家畜人工授精師免許やけん引免許等の資格を取得し、卒業後に活用していきたいと思っています。また、我が家は南阿蘇の比較的涼しい環境ですが、近年の気温上昇により牛が夏バテしているため、暑熱対策についてのプロジェクト活動をしたいと考えています。

プロジェクト例 PROJECT

ミニワズプを活用したサシバエ・イエバエ対策

農高・農大で一貫したプロジェクトに取り組み、牛の疾病を媒介しストレスを与えるサシバエ等の対策として、天敵昆虫であるミニワズプの活用について調査・検討した。ミニワズプを導入することによりハエの発生数を削減することが可能であると考えられる。



目指せる資格 License

- 大型特殊(農耕車限定)免許
- けん引(農耕車限定)免許
- フォークリフト運転技能講習
- 小型車両系建設機械運転特別教育
- 無人ヘリコプター操作(初級・中級)★
- 産業用無人ヘリコプター・オペレータ資格
- ドローン・マルチコプター操作(基礎・実践)★
- 家畜人工授精師免許
- 家畜商免許
- 毒物劇物取扱責任者
- 危険物取扱者
- 小規模ボイラー取扱技能講習
- 農産物鳥獣対策被害対策実務者
- フラワー装飾技能士3級、2級
- 食品衛生責任者
- 日本農業技術検定3級以上
- アーク溶接特別教育講習

★校内での講習が終了するものです
※資格試験合格または講習修了証受領をもって1つの資格につき1単位が加算されます。(農業技術検定は2級以上で1単位)

必要経費

本校在学中(2年間)の必要経費 令和7年現在の概算額であり、変更となる場合があります ●寮生:約120万円 ●通学生:約110万円^{※1}

	入学金	授業料(2年分)	海外農業 ^{※2} 研修費(預り金)	寮・学習経費 ^{※3}	後援会・同窓会費	被服・教科書代 ^{※4}	合計
寮生	5,650円	237,600円	400,000円	322,900円	121,000円	12万円前後	1,207,150円
通学生				217,900円			1,102,150円

※1:個人の通信費や食費などの生活費、資格取得に必要な経費は含みません。※2:海外農業研修費は参加希望者のみ。※3:寮居室電気料(預り金)を含みます。※4:被服・教科書代は各学科・コースで異なります。

- 寮の食費は、朝食350円、昼食470円、夕食480円で、通学生は昼食のみ利用可能。
- 日本学生支援機構などの奨学金制度あり。
- 卒業後、親元就農・独立自営就農・雇用就農を確約し、要件を満たす場合は、就農準備資金の利用が可能。

学生寮

農学部の学生は、農大の敷地内にある学生寮「耕志寮」への入寮が可能です。集団生活を通じて、豊かな人間性とかげがえのない友情を育み、学生生活の楽しい思い出を築いてください。



SCHEDULE

年間行事

2年間に及ぶ充実した農大生活のスケジュール例を紹介します。



入学式

農学部の学生及び研修部の研修生一同が会し、新たな学びがスタートします。



コースマッチ

学生同士の交流を深めることを目的に実施します。



早苗饗(さなぶり)

農大の恒例行事のひとつ。全学生での田植え後、BBQを行い、盛り上がります。

九州地区農大親善体育大会
九州各県の農大生が一同に会し、各種スポーツを競います。各県の農大生との交流もできます。



黒石原祭

農大の学園祭では、学生が生産した農産物やバザーの出店があり、毎年多くの来場者で賑わいます。また、学生会で作上げるステージも見ごたえがあります。



農大マルシェ

学生と研修生が実習で生産した農産物や農産加工品を販売しています。実施日は、ホームページをご確認ください。



退寮式(2年生)



卒業式

農大の2年間を終えた2年生は、それぞれの進路に向かいます。

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

農家派遣研修(1年生)

県内の農大卒業生(耕志会)先で研修を行い、農大での学びの動機づけをします。



校外派遣研修(2年生)

海外農業研修(2年生)

R7はオーストラリアで実施
※希望者のみ参加



資格取得に挑む!!

夏季休暇期間にフォークリフト技能講習会や家畜人工授精師講習会など、資格取得に向けた各種講習会が実施されます。

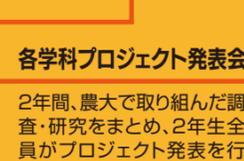


前期試験



校外派遣研修(1年生)

それぞれの目指す進路に応じて、農家派遣研修または農業関連企業等へのインターンシップを実施します。



各学科プロジェクト発表会

2年間、農大で取り組んだ調査・研究をまとめ、2年生全員がプロジェクト発表を行います。



校内プロジェクト・意見発表会

各学科から選出された代表者による発表会が行われます。1年生は意見発表の部、2年生はプロジェクト発表の部で九州大会を目指して発表します。

卒業試験(2年生)



後期試験(1年生)



コース別研修

各学年とも、年間を通して、各コースの特色に応じた先進施設や農家等へ視察研修を実施します。



実践的な野菜栽培と
経営技術を習得

主な栽培品目
野菜
(トマト、ナスなど)

研修部



新規就農支援研修

県内で新たに農業を始める社会人経験者を対象に、就農に必要な農業の基礎知識や経営管理、関連情報を体系的に学ぶための研修を行っています。
プロ経営者コースと実践農業コースがあります。

研修施設(一部紹介)



- ◆野菜実習用ハウス 計14棟
- プロ経営者コース10棟、実践農業コース4棟
- プロ経営者コースは模擬経営実習として1人1棟貸し出します。



- ◆自啓館
- 教室や休憩スペースなど研修生の拠点となる施設です。無料でWi-fiも利用できます。

プロ経営者コース(定員10名)

- ▶本県農業の担い手として、野菜栽培技術の修得と本格的な農業経営を目指します。
※就農予定時の年齢が原則60歳未満
- ▶4月から翌3月の約1年、週5日間(月~金)(8:50~16:20)研修。
※要件を満たす場合は、就農準備資金の申請が可能



〈年間スケジュール〉

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1~3月

研修開始(4月上旬)

営農計画発表会(12月) 研修修了(3月中旬)

春作:共同管理

秋冬作:個別管理

- ▶トマトやナス等、10品目程度を研修生が共同で栽培し、基礎技術・知識を習得する

- ▶就農後を見据え、自ら作付品目を選定・栽培・販売に取り組み、実践力を養う



実践農業コース(定員40名)

- ▶地域農業の守り手として、田畑の管理や直売所等への販売を目指します。
※就農予定時の年齢が原則65歳未満
- ▶4月から12月の8か月、週3日間(月・水・金)(8:50~16:20)研修。
- ▶農薬や肥料を適切に使用し、高品質な農産物栽培を学ぶ慣行栽培コースと、農薬や化学肥料を使用しない環境に配慮した栽培を学ぶ環境配慮型栽培コースの2つのコースがあります。



〈年間スケジュール〉

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1~3月

入学式(4月)

研修修了(12月上旬)

共同管理

- ▶トマトやナス等、20品目程度を研修生が共同で栽培し、基礎技術・知識を習得する
- ▶育てた農産物は農大マルシェにて販売

営農計画発表会(12月上旬)



榎さん(熊本市)

▶R5年度プロ経営者コース修了生(19期生)

修了生の声

研修受講の理由

- ▶サラリーマンとして働いていたが、農業を志し、自分なりに情報収集や知り合いの農家で作業を行ったが限界があった。そこで、体系的に基本技術や知識を習得したいと考え、研修カリキュラムが充実している農大を選択しました。

農大研修の良い点

- ▶様々な品目を栽培できたことで知見が広がった
個人だと年間に1~2品目しか栽培できないが、共同作業により数多くの品目を学べたことは、就農品目を選ぶ上でも参考になり、野菜栽培の基礎を学ぶことができました。
- ▶横のつながり
新規就農を志す仲間ができ、モチベーション高く、切磋琢磨することができました。研修終了後も中古ハウスや機械等の情報交換するなど、ネットワークができたことは財産です。
- ▶認定新規就農者にスムーズになれたこと
経営開始資金や青年等就農資金などの支援策を活用した設備導入を検討し、認定新規就農者を目指していたが、研修で制度説明や営農計画の作成支援があり、卒業後スムーズに認定を受けることができました。

経営品目面積

大玉スイカ
110a

Uターン
独立自営
就農準備資金



西山さん(山都町)

▶H19年度実践農業コース修了生(3期生)

修了生の声

研修受講の理由

- ▶有機農業を営む義父母から離農の相談を受けたことを機に、平成19年に就農を決意。当時は全くの素人であり、基礎を習得したいと考え、農業大学の研修を受講しました。

農大研修の良い点

- ▶農業に関する一通りの事柄を学ぶことが可能
自分なりに情報収集して深堀することはできませんが、とりかかるとなるキーワードを知らないで知識に漏れがでてしまい、これが取り返しのない失敗につながることもあります。農大では様々な分野の専門家による研修で農業に必要な一通りの技術・知識を学べるのは有益でした。
- ▶農業を始める第一歩におすすめできる
熊本県内に就農研修機関はいくつありますが、基礎を体系的に学びたい方、農地や栽培品目が定まっていない方、多くの品目を学びたい方などは、県立農大をおすすめします。

経営品目面積

にんじん
ばれいしょ
たまねぎ
他多品目
3.7ha
(有機JAS認証ほ場)

Uターン
親元就農
環境保全型農業